

! 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。

■LEDユニットについて

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ **△注意** 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

型番 AU40211L

お客様へ

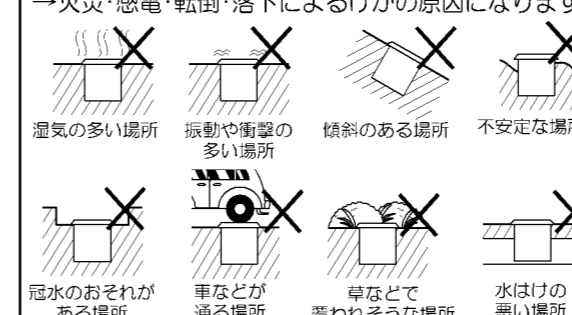
器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
! 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。	! 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
! 禁止	この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	! 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
	このような場所には取付けないでください。土壌のしっかりした場所に取付けてください。 →火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。	! アース工事	器具を布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
		! 厳守	アース端子(線)が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合は感電の原因になります。
この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障などの原因になります。			表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
			異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

注意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
! 厳守	照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状況で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。 →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。	! 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。
! 禁止	埋込ボックス内に水がたまらないように必ず排水処理を行ってください。 →絶縁不良による感電の原因になります。	! 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。
			ガス機器など温度が高くなるものの近くへの取付けや、器具の近くにストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。

■定格

型番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AU40211L	AC100V	0.07A	3.8W	LED

保証とアフターサービスについて

保証について

- この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ランプ(LED電球含む)、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。

修理を依頼される時

- ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

■施工前の確認

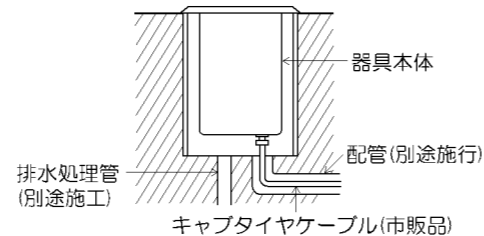
1 設置場所を確認する

- 不安定な場所、状態で使用しない。
- 積雪の期間は器具を取外すか、雪に埋もれないようにする。漏電・故障・損傷の原因になります。
- 埋込ボックスは土壌のしっかりした場所に設置する。
※砂地などの土質の軟らかい場所に設置する場合は、コンクリートなどで埋込ボックスを固定してください。
- 埋込ボックスと本体の間に水が入るのでたまりないように排水処理をする。漏電・故障・損傷の原因になります。
- 電源線(市販のキャプタイヤケーブル)は、仕上がり外径φ6~φ10(3芯)を使用する。

2 ホタルスイッチを使用する場合

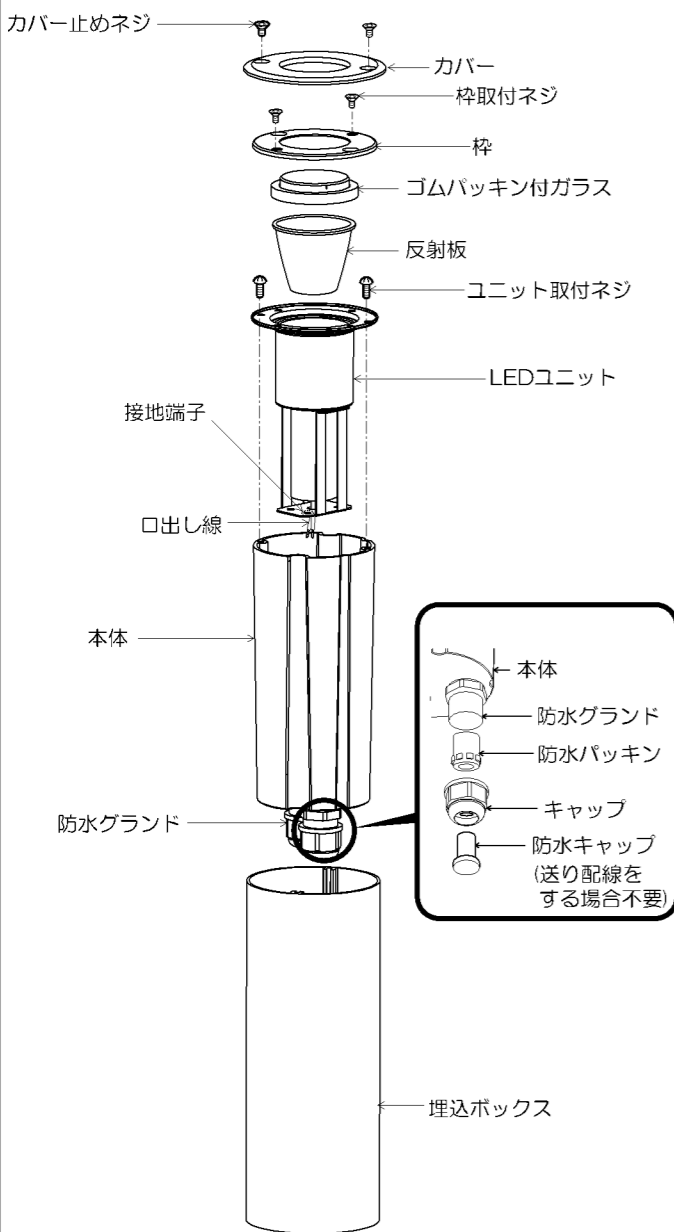
- ホタルスイッチなどと組み合わせる場合は1個までとしてください。2個(3路配線)以上で使用されますと、LEDが消灯しないなど、誤作動の原因となります。

3 施工に関しては電気設備基準・内線規程に従って行なう



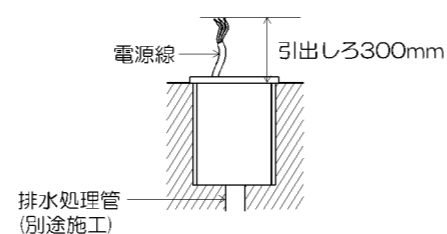
■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



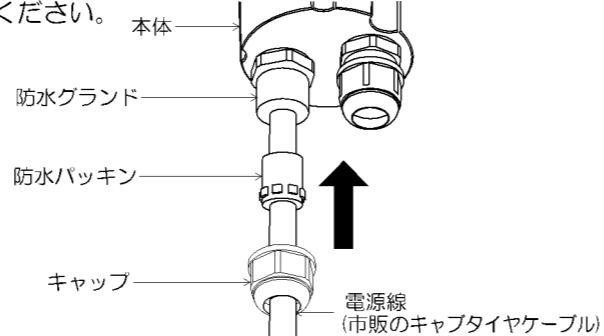
1 埋込ボックスを設置する

埋込ボックスに電源線(市販のキャプタイヤケーブル)を通し、排水処理をした地中に設置する。



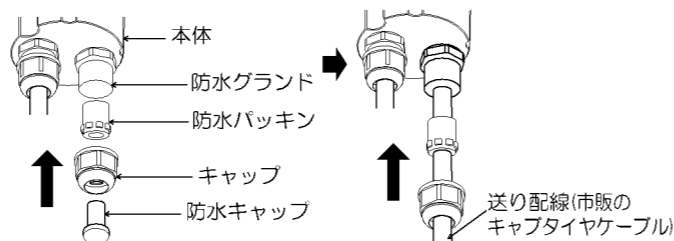
2 電源線を本体に通す

電源線(キャプタイヤケーブル)にキャップ、防水パッキンを通してから電源線を防水グランドに通してください。



<送り配線をする場合>

片側のキャップ、防水キャップ(不要)、防水パッキンを取外し、送り配線(キャプタイヤケーブル)にキャップ、防水パッキンを通してから送り配線を防水グランドに通してください。

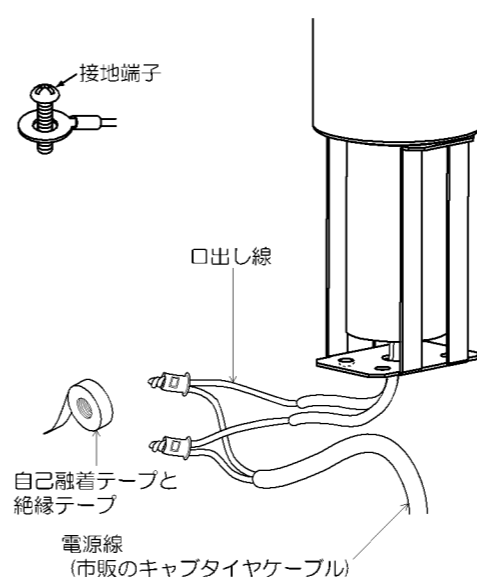


3 電源線を接続する

電源線と口出し線を実際に接続し、防水および絶縁処理を行なう。

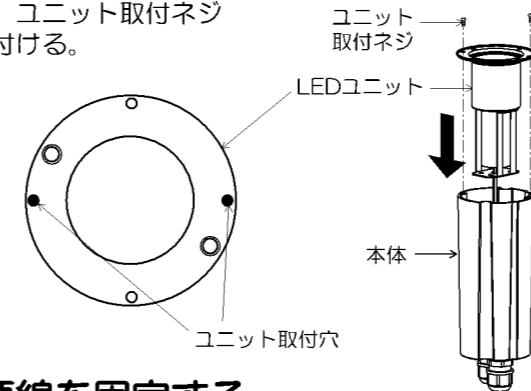
※D種(第三種)接地工事を行なう。

△警告 電源の接続は確実に行ってください。接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合、容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。



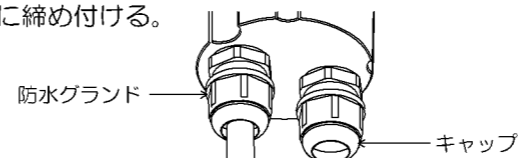
4 LEDユニットをのせる

LEDユニットを本体に合わせ、ユニット取付ネジで取付ける。



5 電源線を固定する

防水パッキンを防水グランドに合わせ、キャップを確実に締め付ける。



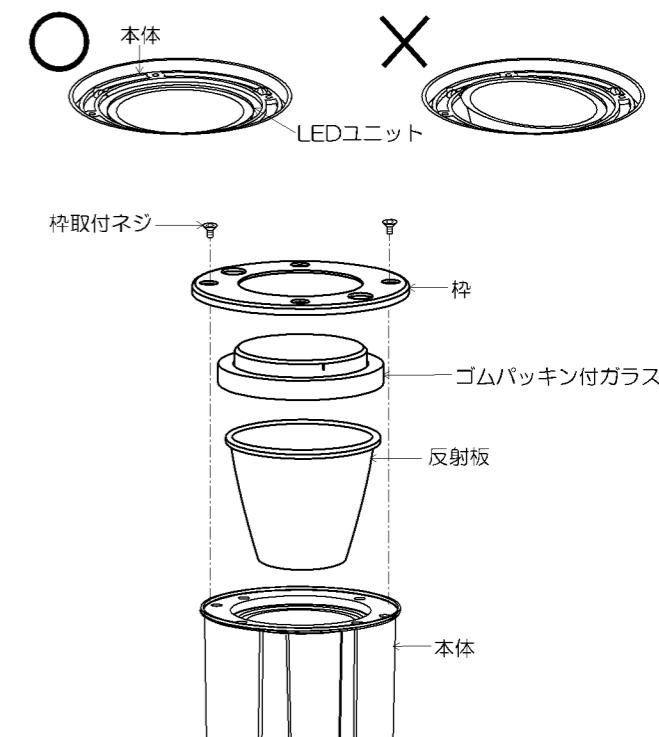
※器具内にキャプタイヤケーブルの外被が出ている状態でキャップを確実に締め付けてください。浸水の原因になります。



6 反射板、ガラス、枠を取付ける

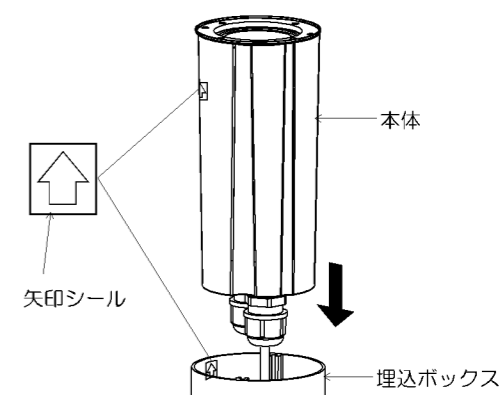
ゴムパッキン付ガラス、枠を本体に合わせ、枠取付ネジで取付ける。

この際、LEDユニットが本体に確実にのっているのを確認してから取付けてください。



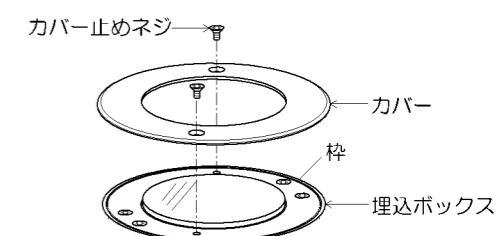
7 本体を取付ける

本体の矢印シールと埋込ボックスの矢印シールを合わせ入れ込む



8 カバーを取付ける

カバーを枠に合わせ、カバー止めネジで取付ける。



9 点灯の確認を行なう